

13. その他

(1) 差入保証金の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

内 容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
職員住宅借上敷金	548,000	180,000	159,000	569,000
合 計	548,000	180,000	159,000	569,000

(2) 金融商品に対する取り組み方針

当協会は、協会直営事業の財源の相当部分を金融資産の運用益によって賄うため、「公益財団法人ひょうご豊かな海づくり協会資金運用方針(平成25年6月5日制定、平成27年3月16日一部改正)」及び「資金運用の取扱いについて(平成28年3月15日第22回理事会報告、平成28年3月29日第18回評議員会報告)」により運用を行い、定期的に、理事会、評議員会に報告する。

－平成27年度公益法人の会計に関する諸課題の検討結果について(平成28年3月23日内閣府公益認定等委員会公益法人の会計に関する研究会)に基づき記載－

(参考)

仕組債のリスク軽減策

資金運用に当たり、「基本」「購入時のリスク軽減策」「債券保有中のリスク管理」「今後のリスク軽減方策」を定めた「資金運用の取扱いについて」を制定する。

【検討経過】

- ① 平成27年11月25日に開催された兵庫県の平成27年度第5回公社等経営評価委員会において、「仕組債のリスクを考えた場合、今後、仕組債のリスク低減方策について、具体的に検討すべき」との指摘を受け検討を行った。
- ② 従前より当協会においては、「公益財団法人ひょうご豊かな海づくり協会資金運用方針」を基本とし、資金運用委員会の開催、毎年度の資金運用計画・年度中間時の運用状況及び運用実績の理事会・評議員会議決、債券購入時の理事長・副理事長決済等により債券の運用管理を行ってきた。
- ③ このたびの委員会の指摘を受け、「資金運用の取扱いについて」を定め、資金運用のリスク軽減策とした。

5 付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

注記に記載しているため省略

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	13,685,910	14,757,515	13,401,272	284,638	14,757,515
退職給付引当金	176,230,238	0	0	3,373,848	172,856,390